



2023年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年9月14日

場会社名 ANYCOLOR株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5032 URL http://anycolor.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 田角 陸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO 兼 経営管理部長 (氏名) 釣井 慎也 TEL 03(4335)4850
 四半期報告書提出予定日 2022年9月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年4月期第1四半期の業績(2022年5月1日~2022年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第1四半期	5,930	-	2,122	-	2,112	-	1,464	-
2022年4月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年4月期第1四半期	48.86	46.83
2022年4月期第1四半期	-	-

- (注) 1. 当社は、2022年4月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年4月期第1四半期の数値及び2023年4月期第1四半期の対前年同四半期の増減率については記載しておりません。
 2. 2023年4月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社株式が2022年6月8日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、新規上場日から当第1四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年4月期第1四半期	10,962	7,853	71.6
2022年4月期	9,353	6,318	67.5

(参考) 自己資本 2023年4月期第1四半期 7,850百万円 2022年4月期 6,315百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年4月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年4月期	-	-	-	-	-
2023年4月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年4月期の業績予想（2022年5月1日～2023年4月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	34.1	5,510	31.5	5,480	32.1	3,800	36.1	126.91
	～21,000	～48.3	～6,510	～55.3	～6,480	～56.2	～4,620	～65.4	～154.29

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 業績予想については、レンジ形式により開示しております。詳細は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

3. 1株当たり四半期純利益は、2022年6月7日付で払込完了した公募（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行に伴う公募増資分（50,000株）を考慮して算出しております。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年4月期1Q	29,993,435株	2022年4月期	29,943,435株
② 期末自己株式数	2023年4月期1Q	－株	2022年4月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年4月期1Q	29,972,239株	2022年4月期1Q	29,943,435株

（注）2021年12月1日開催の取締役会決議により、2022年1月5日付で株式1株につき15株の割合で株式分割を行っております。2022年4月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(会計方針の変更)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「魔法のような、新体験を。」というコーポレート・ミッションのもと、新しいエンターテインメントを提供する会社として、VTuberグループ「にじさんじ」の運営を主軸としたエンターテインメント領域での事業展開を行っております。当社のVTuberビジネスは、主にYouTubeにおけるライブ配信動画を中心とした動画配信活動によるライブストリーミング領域、当社がIPを有するVTuberのオリジナルグッズや音声を録音したデジタル商品の販売を行うコマース領域、当社所属のVTuberが出演する、音楽をはじめとしたイベントを主催するイベント領域、企業からのタイアップ広告、IPライセンス、メディア出演等の案件であるプロモーション領域の4領域で構成されております。VTuberグループ「にじさんじ」は日本国内を中心に、「NIJISANJI EN」は英語圏を中心にそれぞれ上記4領域での活動に従事しております。

国内VTuberビジネスでは、VTuberグループ「にじさんじ」に所属する日本国内で活動するVTuber数は112人（前年同期比5名増加）、YouTube再生時間は152百万時間（前年同期比11%増）となりました。また、「にじさんじオフィシャルストア」や「にじさんじFAN CLUB」等の利用の際に必要なIDであるANYCOLOR IDは631千ID（前年同期比123%増）となりました。海外VTuberビジネスに関しても、英語圏におけるVTuberビジネス「NIJISANJI EN」の拡大をはじめとして注力しており、VTuber数は26人（前年同期比20名増加）、YouTube再生時間は37百万時間（前年同期比1,226%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高5,930,883千円、営業利益2,122,840千円、経常利益2,112,310千円、四半期純利益1,464,530千円となりました。

なお、当社は動画コンテンツ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は10,145,383千円となり、前事業年度末に比べ1,647,603千円増加いたしました。これは主に売掛金が1,215,743千円、現金及び預金が273,618千円増加したこと等によるものであります。固定資産は817,052千円となり、前事業年度末に比べ38,493千円減少いたしました。これは主に投資その他の資産その他が27,609千円、敷金が12,672千円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、10,962,436千円となり、前事業年度末に比べ1,609,109千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は2,845,683千円となり、前事業年度末に比べ121,188千円増加いたしました。これは主に未払法人税等が400,586千円減少したものの、買掛金が456,808千円、流動負債その他が83,312千円増加したこと等によるものであります。固定負債は263,100千円となり、前事業年度末に比べ46,989千円減少いたしました。これは長期借入金の減少によるものであります。

この結果、負債合計は、3,108,783千円となり、前事業年度末に比べ74,199千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は7,853,652千円となり、前事業年度末に比べ1,534,910千円増加いたしました。これは主に四半期純利益1,464,530千円の計上による利益剰余金の増加に加えて、公募増資に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ35,190千円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、複数人のVTuberによるユニットプロデュース、バーチャルタレントアカデミーを通じた次世代のVTuber育成、英語圏をはじめとした海外展開の更なる深化等を通じて、引き続き高い成長の実現を目指します。2023年4月期の業績見通しにつきましては、新規デビューを含める当社VTuberグループに対するファンの方々からの熱量を定量的に予想することは困難であること、及び、特に英語圏におけるVTuber市場はまだ黎明期であることを総合的に考慮の上で一定のレンジにおいて予想を策定しており、2022年6月14日に発表した通期業績予想からの変更はございません。

なお、通期業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,860,698	6,134,317
売掛金	2,069,605	3,285,349
商品	488,875	598,585
その他	78,600	127,131
流動資産合計	8,497,779	10,145,383
固定資産		
有形固定資産	227,510	218,753
無形固定資産	8,410	18,955
投資その他の資産		
敷金	458,481	445,809
その他	161,143	133,533
投資その他の資産合計	619,625	579,343
固定資産合計	855,546	817,052
資産合計	9,353,326	10,962,436
負債の部		
流動負債		
買掛金	739,647	1,196,455
1年内返済予定の長期借入金	246,742	228,397
未払法人税等	1,054,313	653,727
その他	683,791	767,103
流動負債合計	2,724,494	2,845,683
固定負債		
長期借入金	310,089	263,100
固定負債合計	310,089	263,100
負債合計	3,034,583	3,108,783
純資産の部		
株主資本		
資本金	104,120	139,310
資本剰余金	2,476,034	2,511,224
利益剰余金	3,734,957	5,199,488
株主資本合計	6,315,112	7,850,022
新株予約権	3,630	3,630
純資産合計	6,318,742	7,853,652
負債純資産合計	9,353,326	10,962,436

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自2022年5月1日 至2022年7月31日)
売上高	5,930,883
売上原価	3,342,830
売上総利益	2,588,053
販売費及び一般管理費	465,212
営業利益	2,122,840
営業外収益	
受取利息	0
その他	525
営業外収益合計	525
営業外費用	
支払利息	990
株式公開費用	7,867
その他	2,197
営業外費用合計	11,055
経常利益	2,112,310
税引前四半期純利益	2,112,310
法人税、住民税及び事業税	620,613
法人税等調整額	27,166
法人税等合計	647,779
四半期純利益	1,464,530

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月8日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場にあたり、2022年6月7日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行50,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ35,190千円増加しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間（自 2022年5月1日 至 2022年7月31日）

当社は、動画コンテンツ関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。